

# I. 令和2年度高校生模擬議会の概要

## 令和2年度高校生模擬議会の概要

### 1. 事業趣旨

これから有権者となる高校1・2年生が地域の課題を考えるグループワークや模擬議会を体験することにより、政治や選挙に対する関心を高める。

### 2. 参加校（3校）

青森県立大間高等学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校、青森県立八戸東高等学校

### 3. 事業の概要

参加校各校においてグループワークを実施し、グループワークや事後学習の結果を基に、各校において学校代表グループを選出する。模擬議会当日、各校の学校代表グループが県庁に集まり、県議会議員に対して政策提案を行い、議員からの質問に対して答弁を行うとともに、関係課に対して質問を行い、関連する県の取組等について答弁していただく。

#### (1) グループワーク

明治大学文学部特任教授藤井剛氏の進行のもと、「青森県の活性化」に係るグループワークを実施。※グループワークの前後には、各校において事前学習・事後学習を実施。

学校名	日時	対象
青森県立大間高等学校	令和2年10月8日（木） 9時45分～12時35分	1学年 37名
八戸聖ウルスラ学院高等学校	令和2年10月23日（金） 10時50分～12時30分	1学年 94名
青森県立八戸東高等学校	令和2年11月20日（金） 14時15分～16時05分	2学年 230名

#### グループワークの様子

青森県立大間高等学校	
	
八戸聖ウルスラ学院高等学校	
	



## (2) 模擬議会

①日時 令和3年2月3日(水) 13時00分～15時30分

②場所 青森県議会 本会議場

③次第

1 開 会 13:00

2 開会挨拶 13:00～

青森県選挙管理委員会委員長 柿崎 光顯

青森県議会広報図書委員会委員長 夏堀 浩一

3 政策提案 13:10～

【議事進行】青森県議会議長 森内 之保留、青森県議会副議長 櫛引 ユキ子

(1)青森県立大間高等学校

「わいどの青森～本州最北端の高校生が変えていく青森の未来～」

(2)八戸聖ウルスラ学院高等学校

「食育キャンプで青森の課題解決」

(3)青森県立八戸東高等学校

「短命県返上！！～高校生が作る健康あおもり～」

4 総 評 14:50

青森県議会議長 森内 之保留

5 閉 会 14:55

6 記念撮影 15:00

7 解 散 15:30

#### 4. アンケート集計結果

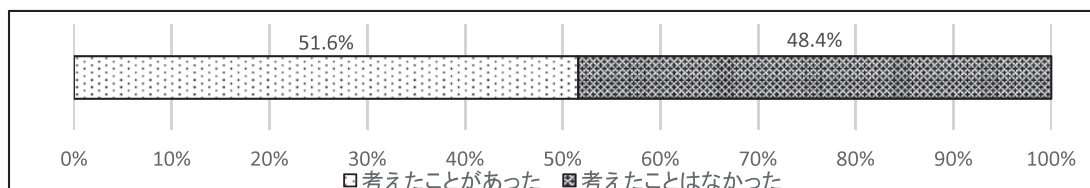
グループワーク実施前と実施後に、グループワーク参加生徒を対象に、下記項目についてアンケート実施した。

※【事前】グループワーク実施前アンケート、【事後】グループワーク終了後アンケート  
 ※調査対象者:343名（事前アンケートと事後アンケートの両方に回答した生徒分のみ集計。）  
 県立大間高校:35名、八戸聖ウルスラ学院高校:86名、県立八戸東高校:222名

- (1)【事前】これまで青森県のこと(例えば、青森県の現状、青森県の活性化、未来など)を考えたことがありましたか。

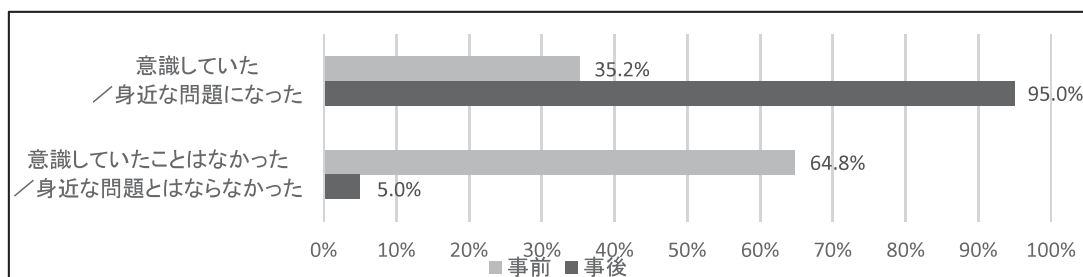
(注)「事前」のみの設問

事前アンケートで、これまで青森県のことを考えたことがあったと回答した生徒は、51.6%、考えたことはなかったと回答した生徒は、48.4%だった。



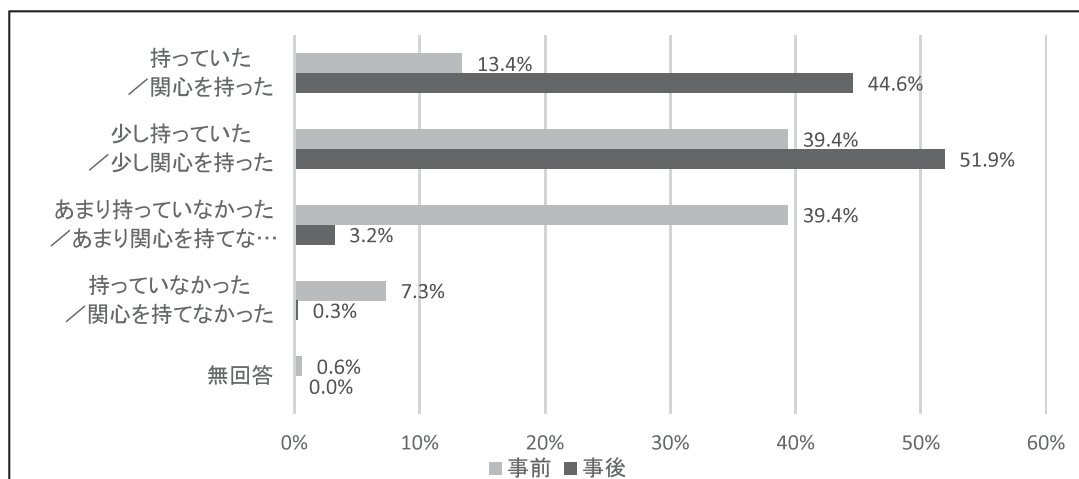
- (2)【事前】「青森県の活性化」を身近な問題として意識していましたか。  
 【事後】「高校生模擬議会」グループワークを通して、「青森県の活性化」は身近な問題になりましたか。  
 (注)「事前」は、1で青森県のことを考えたことがあったと答えた場合のみ、回答

事前アンケートでは、「青森県の活性化」を身近な問題として意識していたと回答した生徒は、35.2%だったが、グループワーク終了後の事後アンケートでは、身近な問題になったと回答した生徒は95.0%となった。



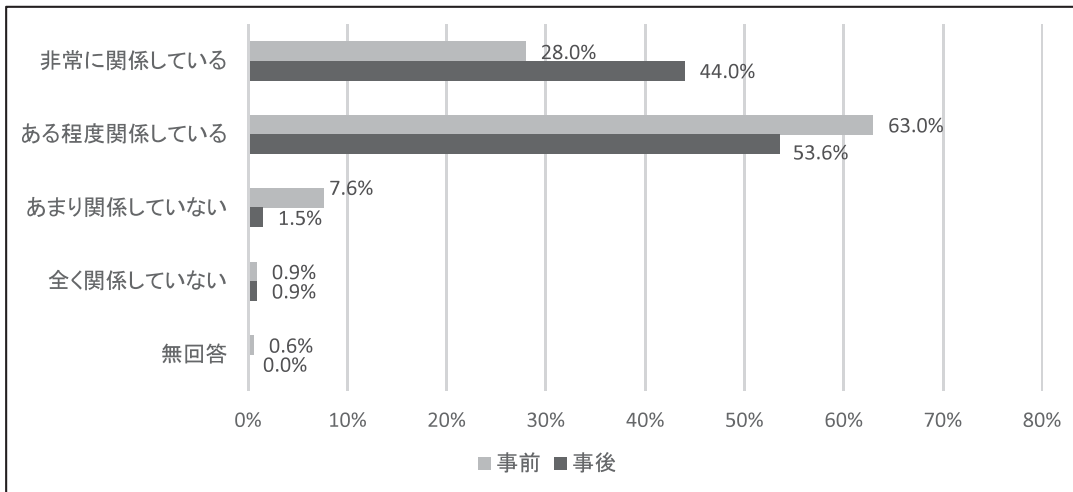
- (3)【事前】これまで「政治や選挙」に対して関心を持っていましたか。  
 【事後】「高校生模擬議会」グループワークを通して、「政治や選挙」に対して関心を持ちましたか。

事前アンケートでは、「政治や選挙」に対して関心を持っていたと回答した生徒は、13.4%だったが、グループワーク終了後の事後アンケートでは、関心を持ったと回答した生徒は、44.6%となった。



- (4)【事前】あなたは、自分自身の生活と政治がどの程度関係していると考えていますか。  
 【事後】あなたは、自分自身の生活と政治がどの程度関係していると考えていますか。

事前アンケートでは、自分自身の生活と政治が非常に関係していると回答した生徒は、28.0%だったが、グループワーク終了後の事後アンケートでは、非常に関係していると回答した生徒は、44.0%となった。



- (5)【事前】18歳になったら投票に行こうと考えていましたか。  
 【事後】グループワークを通して、18歳になったら投票に行こうと考えましたか。

事前アンケートでは、18歳になった必ず投票に行こうと考えていたと回答した生徒は、35.3%だったが、グループワーク終了後の事後アンケートでは、必ず行こうと考えたと回答した生徒は、55.1%となった。

